

## かんしょのタバココナジラミ・バイオタイプ Q (新発生)

令和5年2月中旬、道内の施設内で栽培されているかんしょ苗において、白い翅を持つ淡黄色の小型昆虫が発見された。中央農業試験場において形態を観察したところ、既存のオンシツコナジラミと比較して成虫は体長が約0.8~1mmとやや小型で、静止時に翅が重ならないため腹部が見えていた。幼虫は黄色の長楕円形で、4齢幼虫(蛹)はやや厚い小判型をしておりトゲ状分泌物はなく、タバココナジラミ *Bemisia tabaci* (Gennadius) と同定された。タバココナジラミのバイオタイプについて PCR-RFLP 法を用いて解析したところ、これまで道内で確認されてこなかったバイオタイプ Q であることが判明した。また、採取されたタバココナジラミについて、PCR 法によりトマト黄化葉巻ウイルスの保毒を確認したところ、陰性であった。

(中央農試)



左：タバココナジラミ・バイオタイプ Q の成虫、右：幼虫（中央農試 荻野 原図）